



大阪大学の学習支援と 図書館・教員の協業について

大阪大学
全学教育推進機構
堀 一成



Center for Education in
Liberal Arts and Sciences

大学図書館問題研究会 第43回全国大会
第8分科会「学習のハブとしての大学図書館」
2012年8月5日 @京都 コミュニティ嵯峨野

(C) 2012 Kazunari HORI, Osaka Univ.

今日のお話は

- 阪大附属図書館ラーニング・コモンズを使ったセミナー授業やライティング講習の事例紹介
- 阪大における、図書館利用に限らない学習支援の紹介と施設の使い分け
- 阪大における図書館職員と教員の協業
- 図書館関係の方々への提言など

あなた何者ですか？

- 1・2年生を対象とする共通教育
（教養教育）を担当する組織の教員
主な研究分野は 多言語資源・数理工学など
- 旧大阪外大では情報リテラシー教育
（IT分野の意味での）や
プログラミング教育を担当
- 旧大阪外大 情報処理センター長
（平成16年4月～平成19年9月）
情報システムの運営や監査なども担当
- 最近、図書館利用教育など学習者中心教育の試みに
仕事が生かされる



大学に求められる学びのあり方 の変化

旧

教員→学生 の 講義形式
知識の獲得
調べたことをまとめる

新

相互協調学習
(教員はサポート役)
[問題発見法・学ぶ方法・
学びの姿勢] の獲得
自らの考えを他人に発信

相応しい場の提供が必要！



阪大豊中キャンパスの 主な学習支援施設

- 附属図書館の閲覧室など
- ラーニング・コモンズ（附属図書館）
- スチューデント・コモンズ
（全学教育推進機構）
- カフェ カルチエ
（全学教育推進機構）

豊中 総合図書館

ラーニング・コモンズの概要

- B棟2階に設置 (756m²)
- 4ゾーンに分かれ多様な利用を図る
- 固定PC 18台、貸出PC 24台
- 大・小のホワイトボードを使って自由にディスカッション
- 飲み物可 (自販機有)



ラーニング・コモンズ活用 基礎セミナー事例

- 基礎セミナーとは？

- ☆ 少人数（数人～十数人程度）

- ☆ 対話形式

- ☆ 体験的課題追求型

- ☆ 対象は全学部的一年生中心

- ☆ 近隣高校生も参加

のセミナー形式共通教育科目
（半年 全15回 2単位）



基礎セミナー

「図書館パスファインダーをつくろう」

- 初年次学生が初年次学生のためのパスファインダーをつくる
- 図書館活用法演習とWeb制作実習を兼ねている
- できたパスファインダーは阪大の学習支援サイトで公開
- 高校生が参加し、高校生のためのパスファインダーも作成（これまで3名）



初年次学生が作った パスファインダー

著作権

著作権というのは、実は意外に身近な言葉です。友達と音楽CDを貸し借りしたり、有名なキャラクターが描かれたグッズを買ったり、インターネットで動画を見たり。授業で使う教科書をコピーしたり、プレゼンのための資料をネットからダウンロードしたり。そういった日常的な行動のすべてが著作権と密接に関わりあっています。そして、それらが本当に著作権の観点から正しい行動なのか。知らぬ間に著作権法に違反してしまっているのではないのか。これをきちんと知ってほしいので、著作権に関する本を紹介したいと思います。

1. 著作権とは

著作権とは、特許権や商標権とともに知的財産のうちに数えられる、文章や音楽、写真、絵画、映画などの創作物に対する利用を支配できる権利のこと。著作権法によって細かく規定されている。

2. 関連単語

著作権法 / 財産権 / 知的財産 / 特許 / コピーライト / JASRAC

3. 参考図書

書名	著者	出版年	出版社	請求記号	形態
内容解説など					

◆とりあえず読んでおきたい入門書
著作権のことを本格的に勉強しない人でも、気軽に読む身近な本

図解これだけ覚える著作権入門	秦克則	2009年	東京：成美堂出版	0212/HAT	191p,19cm
			総合図学習用図書	ISBN=9784415306384	OPAC
身近な著作権からみの問題を、著作権違反かそうでないかでシンプルに解説した本。生活・趣味編やCD・DVD・音楽編など5種類にわかれており、とても見やすく、とっつきやすい。					
その論文は著作権侵害? : 基礎知識からQ&A	服部誠	2010年	東京：中山書店	0212/HAT	214p,21cm
			総合図学習用図書/微生物病研究所図書室	ISBN=9784521732091	OPAC
大学生につきものであるレポート・論文などで著作権法違反をしないために、是非一度参考にしてほしい。著作権法の基礎的な知識から、実践的なQ&Aまで。					

◆著作権法に関する参考書
法律そのものについて詳しく解説した本。

なるほど図解著作権法のしくみ	奥田百子	2009年	東京：中央経済社	0212/OKU	187p,21cm
			総合図学習用図書	ISBN=9784502977206	OPAC
少々内容が固いかわ、著作権法の規定などを判例なども交えて詳しく解説している。著作権法自体がどういったものかを勉強するのに役立つ。					
事典知らないと危ないインターネットと著作権	荒竹純一	1997年	東京：中央経済社	0212/ARA	202p,19cm
			総合図学習用図書	ISBN=4502553247	OPAC
タイトルから想像されるよりも、むしろ用語集寄りの本。著作権関係のキーワードに対し、わかりやすく解説されている。					

- Study-Aid ワニの本棚 をごらんください
<http://www.study-aid.net/>

ポートフォリオシート

文学	人間科学	外国語学	法学	経済学	理学	医学	歯学	薬学	工学	基礎工学		
学部												
学科/コース												
学年			1	2	3	4	学籍番号					
フリガナ						氏名						
Portfolio Sheet												
年度			科目名				教員名					
1											出	
月											遅	
日											欠	
2											出	
月											遅	
日											欠	
3											出	
月											遅	
日											欠	
4											出	
月											遅	
日											欠	
5											出	
月											遅	
日											欠	
6											出	
月											遅	
日											欠	
7											出	
月											遅	
日											欠	

- 各時間に学んだことなどを学生自身がメモする
- 各時間終了後に教員が回収
チェック・コメントし次回返却
- 科目終了後は学生が持っておく

ラーニング・コモンズ活用 講習会事例

- レポートの書き方講座（全3回）
- 論文の書き方・文献の読み方
プチゼミナール（全4回）
- プレゼン入門 “話す”基本技術
ミニ講習会（全2回）
- 初心者向け論文検索講習会

などなど、

TA・図書館職員も講師として参加



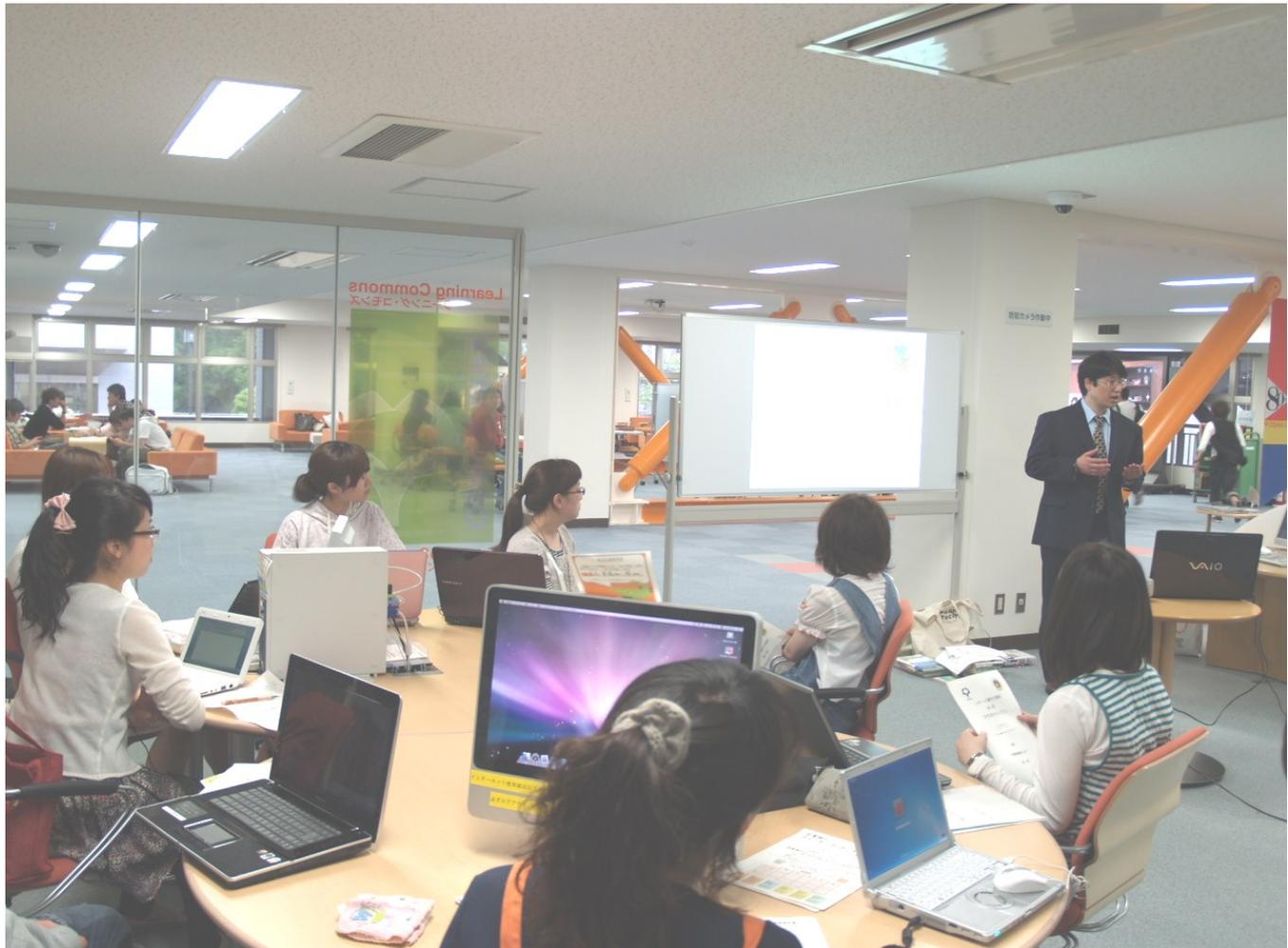
レポートの書き方講座

- レポート未経験者を対象にごく基本の項目に絞って実習する
6月～8月 前期に実施
- 1. パラグラフ・ライティング
- 2. 引用のマナー
- 3. レポートの形式を整える
- 年ごとに規模を拡大

講座規模の推移

- **H22** 1グループで実施
のべ47人（講師担当 堀）
- **H23** 1グループで実施
のべ59人（堀）
- **H24** 3グループに分けて実施
のべ105人
講師担当
堀、TA（青木さん）、職員（末田さん）

講座の様子 その1



講座の様子 その2

参考図書コーナーを体験する



講座の様子 その3

サンプルレポート作成実習



受講者の感想など

- レポートのコツがわかった気がする
- 知らなかった図書館の使い方を教えてもらってよかった
- リファレンスコーナーで相談できるとは知らなかった
- 全15回の授業にしてほしい
⇒ **H24年度実現（全学教育推進機構）**
- 「論文の書き方講座」も希望します
⇒ **次スライドで説明 実現**



論文の書き方・文献の読み方 プチゼミナール

- 高年次生対象。受講者は論文企画書を用意して参加する。
- 「書く1 論文とは？」（講師 堀）
- 「読む 書くための読み方」（赤井）
- 「書く2 論文を組み立てる」（堀）
- 「まとめ、個人発表」（両方）
- 各回他の人の成果を評価しあう（ピアレビュー）を活動の中心にする



プレゼン入門 “話す” 基本技術

- 話す技術を実習したいと思う学生を対象にひらく短い講習会（90分2回）
- ロジカルに話す・話をパラグラフで構成するなどの練習、話す態度なども
- 春休み、夏休みなど学生が来やすい時期に不定期開催
（H24春に4セット、各回数名参加）
（この夏にも2セット予定）
- 講師は附属図書館 久保山専門職員



どうしてこういう活動が できているか？

- **始まりはトップダウンのアイデア**
前教育担当副学長（前図書館長）
- 前大学教育実践センター長と
教員（誰？）が安請け合い
- 図書館利用支援課の方々を中心に
実現に向け動いてもらった
【理念】 図書館を利用した新しい教育
を実験・実現していきたい
（図書館職員も教員も）



大阪大学 全学教育推進機構 スチューデント・コモنزの概要

- 総合図書館から歩いて2、3分
- 教育研究棟I の1階と2階
- 1階部分
カフェQuartier、開放型セミナー室
- 2階部分
マッチング型セミナー室、
セミナー室（1）・（2）、
ITヘルプデスク

スチューデント・コモンズ



● ← 建物外観

● ↓ マatching型
セミナー室



カフェ カルチエ (Quartier)

- コーヒー・パン・ケーキ・サラダ・アイスクリーム等を販売
- 自由に話したり、勉強会をしたり
- 時々自主イベントも
- ワニ博士のぬいぐるみ・ストラップも売っています



スチューデント・ commonsのイベント例 パンキョー革命 (学生教職員懇談会)

- 教育改革を
学生と教職員が
共に議論する
(教育担当副学長
も参加)
- 学生主導の
イベント
- 新科目ができる
などの成果も



教室以外の学びの場 役割分担

- 図書館**閲覧室・サイレントゾーン**
（自分ひとりで学習、話禁止）
- 図書館**ラーニング・commons**
（みんなで議論、飲み物可）
- **スチューデント・commons**
（教員指導下で、議論・プレゼン型
授業、自主イベントもあり）
- **カフェ カルチエ**
（勉強あり・無駄話あり、食事も）

学習支援の場のありかた (私見)

- (特に大学受験以前の) **自主学習体験の不足に配慮する** ⇒ 今後改善か？
- 利用の自由とコントロールのバランスが大事
- その場にふさわしい教育内容をよく検討する (何でもセミナー科目にすれば自主的学習になるわけではない)

→ FDの場で議論する必要あり？



阪大における 図書館職員と教員の協業が うまくいっている?? のは

- ラーニング・コモンズなどの場の存在
- 仕事の領域を増やさないといけないというプレッシャー
(教育GP,G30,G30Plusなどは良い影響だと私は思っています)
- イベントにのってくる学生の存在
- 大学上層部の意志?



図書館関係の方々への提言 1

- 勇気をもって教育に携わってください！
- 図書館の方ならではの
質「付加価値」の高い教育貢献ができるはず。
教育のことを考えるのは教員だけの仕事だと
決めつけないでください。
(参加責任意識を持って！ 同じ職員ですから！)

例：図書館員おすすめ書籍情報、
パスファインダー、講習会、
実際の科目と連動した学習法提案など
色々できることがあるはず



図書館関係の方々への提言 2

- 図書館職員と教員がWin-Winに！
- 互いにとって利になるように
イベント・仕事を持って行きましょう
- 図書館の人にとって利になることは？
⇒ぜひ教えて下さい！
- 教員にとって利になることは
⇒ルーチンワークが減るといいなあ！
新しい研究テーマに繋がるといいなあ！
予算確保に繋がるといいなあ！
教育評価の対象になるといいなあ！



図書館関係の方々への提言 3

- 学生の力に頼りましょう！

☆TAや高学年次学生の活用

☆学生の（本音の）要望を
ちゃんと聞く ⇒改善の参考に

☆その上で、学生にやってもらえる
ことは任せてみる

⇒学生の図書館への理解・愛着が深まる

⇒きっと教員にも良い影響が



図書館の未来は明るい！！

- でも「本が置いてある場所」としての役割は小さくなると思います
- 学生・教員 みんなが寄るところに
⇒ **図書館の機能が変わっていかねば**
- 情報処理センター、大学出版会を飲み込め！
(**コンテンツを作り出す、
情報流通の要をにぎる**)



まとめ

- **ラーニング・コモンズを利用した
セミナー講義やライティング講習会
の紹介**
- **阪大での学習支援の試み**
- **図書館職員と教員の協業について**

